

かわぐち合唱団ニュース第37号

2017、6.14

代表 小川) 喜也

「野の羊」猛練習！！（「野の羊」ってどんな動物？）

10周年まで あと 274日（練習回数は あと 37回）

「野の羊」ってどんな動物って思い調べてみました。（ウシ科の哺乳類。西アジアと中東のノヤギを飼いなしたものだ。羊と似ているが首が長く、雄雌とも角を持つものが多く、あごに長毛の房がある。性質は温順で群れを作る。木の葉などを食べ、粗食でも飼える。乳、肉、毛を利用。）（デジタル大辞泉より）と書いてありました。

この動物を思い浮かべて歌います！



6月7日の練習から

発声練習：

- ・深いところから、息を長く出す感じ。
- ・次の音を超えていくつもりで音を出す。音楽はその連続。

「野の羊」：

- ・ p16、(のっばらはいいなー)の「いいなー」で引かない事。3拍伸ばし、次の八分音符は休符のつもり。しゃべるように。
- ・ p16、(おや)は、「お」と「や」にアクセントをつけて。fで(ひつじがいるなー)に向かっていくつもりで。
- ・ p17、(いい、けなみだなー)の「いい」のあとの休符を共有し毛のつやつや感を出すこと。「なー」は音符通り伸ばすこと。
- ・ p18、ソロのパートの時、各パートは伴奏。ソロを引っ張っていくつもりで。
- ・ p19、「おや」の入り方に注意。1234,1234,12のあとに「おや」と入る。休符こそ音楽の一部！！
- ・ p21、(のっばらはいいなー)の「の」は、よく準備して入ること。出だしを揃えること。
- ・ (さびしくーていいなー)の前の八分休符を共有すること。meno mosso だから、指揮者をよく見ること。



「かやのぎ山の」：

- ・ p7、(もーう) (ねーよーよー)の「もーう」はmf。「ねー」からはpでクレッシェンド。「よ」の入り方に注意。リズムのカウントの取り方として(ねええーえよーよー)歌う時は余分な(え)は、外して。
- ・ p8 (おさるーがなくーだでー) 次の音を超えるつもりでスピード感をもって、曲を進めること。
- ・ p、9 (はよーおねーよー) は最初の四分休符でプレス。mfで大きめに出て、デクレッシェンド。最後は4拍伸ばす。

連絡

①、7/26 (水) ふれあい館 講座室1、19:00~21:00まで 練習

②、8/27 (日) 13時から17時まで 練習。場所は未定。(夏の合宿)

いつでも見学にいらして下さい！団員募集しています。